

Ⅱ 看護系以外の4年制大学への進学希望者の特徴

1. 基本的属性

① 所属看護協会

表1は、所属看護協会別にみた看護系以外の4年制大学への進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合が高いのは、「宮崎」(48.8%)、「東京」(45.8%)、「神奈川」(42.4%)、「京都」・「愛媛」(各41.7%)などの順である。

「進学を考えていない」者の割合が高いのは、「福井」(82.6%)、「島根」(79.2%)、「青森」(78.9%)、「岩手」(77.0%)、「宮城」(76.2%)などの順である。

② 年齢

表2は、年齢別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合は、年齢をへるに従って増加し、30代後半の36.0%をピークに減っている。

表2 年齢別看護系以外の4年制大学への進学希望

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
進学したい	— (—)	178 (29.4)	391 (33.4)	310 (35.8)	271 (36.0)
進学を考えていない	7 (100.0)	427 (70.6)	780 (66.6)	557 (64.2)	482 (64.0)
合 計	7 (100.0)	605 (100.0)	1,171 (100.0)	867 (100.0)	753 (100.0)

表2つづき

40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	無回答・不明	合 計	平均年齢
289 (35.0)	160 (33.1)	101 (29.2)	41 (22.9)	10 (18.5)	6 (54.5)	1,757 (33.1)	35.6
537 (65.0)	323 (66.9)	245 (70.8)	138 (77.1)	44 (81.5)	5 (45.5)	3,545 (66.9)	36.0
826 (100.0)	483 (100.0)	346 (100.0)	179 (100.0)	54 (100.0)	11 (100.0)	5,302 (100.0)	35.9

表1 所属看護協会別看護系以外の4年制大学への進学希望

	進 学 し た い	進学を考えていない	合 計
北海道	116 (35.8)	208 (64.2)	324 (100.0)
青森	19 (21.1)	71 (78.9)	90 (100.0)
岩手	17 (23.0)	57 (77.0)	74 (100.0)
宮城	31 (31.0)	69 (69.0)	100 (100.0)
秋田	20 (23.8)	64 (76.2)	84 (100.0)
山形	26 (36.1)	46 (63.9)	72 (100.0)
福島	43 (34.1)	83 (65.9)	126 (100.0)
茨城	18 (25.0)	54 (75.0)	72 (100.0)
栃木	21 (31.3)	46 (68.7)	67 (100.0)
群馬	26 (32.1)	55 (67.9)	81 (100.0)
埼玉	33 (32.4)	69 (67.6)	102 (100.0)
千葉	43 (37.1)	73 (62.9)	116 (100.0)
東京都	140 (45.8)	166 (54.2)	306 (100.0)
神奈川県	95 (42.4)	129 (57.6)	224 (100.0)
新潟	52 (28.6)	130 (71.4)	182 (100.0)
富山	21 (24.4)	65 (75.6)	86 (100.0)
石川	24 (24.2)	75 (75.8)	99 (100.0)
福井	8 (17.4)	38 (82.6)	46 (100.0)
山梨	9 (27.3)	24 (72.7)	33 (100.0)
長野	21 (26.6)	58 (73.4)	79 (100.0)
岐阜	31 (37.3)	52 (62.7)	83 (100.0)
静岡	39 (26.4)	109 (73.6)	148 (100.0)
愛知県	97 (37.9)	159 (62.1)	256 (100.0)
三重	24 (33.8)	47 (66.2)	71 (100.0)
滋賀	20 (36.4)	35 (63.6)	55 (100.0)
京都	40 (41.7)	56 (58.3)	96 (100.0)
大阪	129 (32.3)	270 (67.7)	399 (100.0)
兵庫県	80 (33.9)	156 (66.1)	236 (100.0)
奈良	24 (38.1)	39 (61.9)	63 (100.0)
和歌山	16 (39.0)	25 (61.0)	41 (100.0)
鳥取	18 (33.3)	36 (66.7)	54 (100.0)
島根	11 (20.8)	42 (79.2)	53 (100.0)
岡山	44 (27.2)	118 (72.8)	162 (100.0)
広島	35 (25.0)	105 (75.0)	140 (100.0)
山口	32 (28.3)	81 (71.7)	113 (100.0)
徳島	15 (30.6)	34 (69.4)	49 (100.0)
香川	27 (33.8)	53 (66.3)	80 (100.0)
愛媛	40 (41.7)	56 (58.3)	96 (100.0)
高知	14 (30.4)	32 (69.6)	46 (100.0)
福岡	73 (33.6)	144 (66.4)	217 (100.0)
佐賀	12 (28.6)	30 (71.4)	42 (100.0)
長崎	29 (33.0)	59 (67.0)	88 (100.0)
熊本	42 (32.6)	87 (67.4)	129 (100.0)
大分	14 (25.0)	42 (75.0)	56 (100.0)
宮崎	20 (48.8)	21 (51.2)	41 (100.0)
鹿児島	25 (40.3)	37 (59.7)	62 (100.0)
沖縄	15 (36.6)	26 (63.4)	41 (100.0)
無回答・不明	8 (36.4)	14 (63.6)	22 (100.0)
合 計	1,757 (33.1)	3,545 (66.9)	5,302 (100.0)

③ 性別

表3は、性別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合は、「男性」で45.2%、「女性」で32.9%おり、「男性」の方が割合が高い。

表3 性別看護系以外の4年制大学への進学希望

	女 性	男 性	無回答・不明	合 計
進学したい	1,716 (32.9)	38 (45.2)	3 (37.5)	1,757 (33.1)
進学を考えていない	3,494 (67.1)	46 (54.8)	5 (62.5)	3,545 (66.9)
合 計	5,210 (100.0)	84 (100.0)	8 (100.0)	5,302 (100.0)

④ 配偶関係

表4は、配偶関係別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合は、「未婚」(36.9%)の方が「既婚」「離死別」(30.8%)よりも割合が高い。

表4 配偶関係別看護系以外の4年制大学への進学希望

	未 婚	既 婚	離 死 別	無回答・不明	合 計
進学したい	738 (36.9)	939 (30.8)	73 (30.8)	7 (50.0)	1,757 (33.1)
進学を考えていない	1,260 (63.1)	2,114 (69.2)	164 (69.2)	7 (50.0)	3,545 (66.9)
合 計	1,998 (100.0)	3,053 (100.0)	237 (100.0)	14 (100.0)	5,302 (100.0)

⑤ 子どもの有無

表5は、子どもの有無別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者は、「子どもがいない」(36.7%)の方が、「子どもがいる」(29.8%)よりも割合が高い。

表5 子供の有無別看護系以外の4年制大学への進学希望

	子供がいる	子供がいない	無回答・不明	合 計
進学したい	866 (29.8)	842 (36.7)	49 (46.7)	1,757 (33.1)
進学を考えていない	2,039 (70.2)	1,450 (63.3)	56 (53.3)	3,545 (66.9)
合 計	2,905 (100.0)	2,292 (100.0)	105 (100.0)	5,302 (100.0)

⑥ 学歴

表6は、一般学歴別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合が高いのは、「大学卒」(43.8%)、「短期大学卒」(37.3%)、「高等学校卒」(34.6%)などの順である。

表6 一般学歴別看護系以外の4年制大学への進学希望

	中学校	高等学校	短期大学	大学	大学院	旧制度	無回答 不明	合計
進学したい	44 (12.5)	1,508 (34.6)	158 (37.3)	21 (43.8)	— (—)	6 (16.2)	20 (25.0)	1,757 (33.1)
進学を考えていない	309 (87.5)	2,849 (65.4)	266 (62.7)	27 (56.3)	3 (100.0)	31 (83.8)	60 (75.0)	3,545 (66.9)
合計	353 (100.0)	4,357 (100.0)	424 (100.0)	48 (100.0)	3 (100.0)	37 (100.0)	80 (100.0)	5,302 (100.0)

表7は、専門学歴別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合が高いのは、「助産婦学校卒」(48.2%)、「保健婦助産婦学校卒」(42.1%)、「看護系大学卒」(39.5%)などの順である。

「進学を考えていない」者の割合が高いのは、「看護系大学院修了」「旧制度卒」を除くと、「高校衛生看護科卒」(84.8%)、「准看学校卒」(83.5%)、「高校専攻科」「看護短大卒」(68.0%)などの順である。

表7 専門学歴別看護系以外の4年制大学への進学希望

	准看学校	高校衛生 看護科	看護学校 (進学コース)	高校専攻科 (進学コース)	看護短大 (進学コース)	高等看護 学校 (3年課程)
進学したい	117 (16.5)	7 (15.2)	503 (34.6)	83 (32.0)	33 (32.0)	581 (35.2)
進学を考えていない	590 (83.5)	39 (84.8)	950 (65.4)	176 (68.0)	70 (68.0)	1,070 (64.8)
合計	707 (100.0)	46 (100.0)	1,453 (100.0)	259 (100.0)	103 (100.0)	1,651 (100.0)

表7つづき

看護短大 (3年課程)	保健婦学校	助産婦学校	保健婦・助 産婦学校	看護系 大学	看護系大 学院修士	旧制度	無回答	合計
79 (37.6)	137 (38.3)	119 (48.2)	64 (42.1)	15 (39.5)	— (—)	11 (22.0)	8 (30.8)	1,757 (33.1)
131 (62.4)	221 (61.7)	128 (51.8)	88 (57.9)	23 (60.5)	2 (100.0)	39 (78.0)	18 (69.2)	3,545 (66.9)
210 (100.0)	358 (100.0)	247 (100.0)	152 (100.0)	38 (100.0)	2 (100.0)	50 (100.0)	26 (100.0)	5,302 (100.0)

⑦ 経験年数

表8は、経験年数別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合は、経験年数をへるにしたがって増加し、経験年数「10～19年」の36.3%を境に減少している。

表8 経験年数別看護系以外の4年制大学への進学希望

	0～2年	3～5年	6～9年	10～19年	20～29年	30年以上	無回答 不明	合計	平均年数
進学したい	85 (29.4)	267 (32.8)	305 (33.9)	658 (36.3)	343 (31.5)	84 (23.7)	15 (34.1)	1,757 (33.1)	13.6
進学を考えていない	204 (70.6)	546 (67.2)	594 (66.1)	1,156 (63.7)	746 (68.5)	270 (76.3)	29 (65.9)	3,545 (66.9)	14.3
合計	289 (100.0)	813 (100.0)	899 (100.0)	1,814 (100.0)	1,089 (100.0)	354 (100.0)	44 (100.0)	5,302 (100.0)	14.0

以上から、看護系以外の4年制大学を進学を希望している人数が最も多いのは、25～29歳(391名)で、女性(1,716名)、既婚者(939名)、子どもがおり(866名)、学歴としては高卒(1,508名)、3年課程の高等看護学校卒(581名)で、経験年数が10～19年(658名)である。

2. 職場の状況

① 職種

表9は、現在の職種別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合が高い職種は、「看護教員」(54.6%)、「助産婦」(51.0%)などの順である。

「進学を考えていない」者の割合が高い職種は、「准看護婦(士)」(83.3%)、「看護婦(士)」(66.0%)などの順である。

表9 現在の職種別看護系以外の4年制大学への進学希望

	保健婦	助産婦	看護婦(士)	准看護(士)	看護教員	その他	合計
進学したい	153 (37.4)	126 (51.0)	1,273 (34.0)	127 (16.7)	71 (54.6)	7 (50.0)	1,757 (33.1)
進学を考えていない	256 (62.6)	121 (49.0)	2,470 (66.0)	632 (83.3)	59 (45.4)	7 (50.0)	3,545 (66.9)
合計	409 (100.0)	247 (100.0)	3,743 (100.0)	759 (100.0)	130 (100.0)	14 (100.0)	5,302 (100.0)

② 職位

表10は、現在の職位別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合が高い職位は、「中間管理職」(38.2%)、「管理職」(36.7%)、「非管理職」(31.8%)の順である。

表10 現在の職位別看護系以外の4年制大学への進学希望

	非管理職	中間管理職	管理職	無回答・不明	合計
進学したい	1,304 (31.8)	389 (38.2)	55 (36.7)	9 (25.0)	1,757 (33.1)
進学を考えていない	2,793 (68.2)	630 (61.8)	95 (63.3)	27 (75.0)	3,545 (66.9)
合計	4,097 (100.0)	1,019 (100.0)	150 (100.0)	36 (100.0)	5,302 (100.0)

③ 現在の勤務場所

表11は、現在の勤務場所別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合が高い勤務場所は、「看護教育機関」(54.2%)、「社会福祉施設」(52.0%)、「助産婦所」(50.0%)、「都道府県庁・省庁」(46.2%)、「老人保健施設」(43.8%)などの順である。

「進学を考えていない」者の割合が高い勤務場所は、「診療所」(70.9%)、「病院」(68.0%)、「市町村役場」(64.0%)、「会社・事業所」(61.5%)、「保健所」(60.4%)などの順である。

表11 現在の勤務場所別看護系以外の4年制大学への進学希望

	病院	診療所	老人保健施設	都道府県庁 ・省庁	保健所	市町村役場
進学したい	1,476 (32.0)	16 (29.1)	7 (43.8)	6 (46.2)	55 (39.6)	82 (36.0)
進学を考えていない	3,137 (68.0)	39 (70.9)	9 (56.3)	7 (53.8)	64 (60.4)	146 (64.0)
合計	4,613 (100.0)	55 (100.0)	16 (100.0)	13 (100.0)	139 (100.0)	228 (100.0)

表11つづき

看護教育機関	左記以外の教育機関	会社・事業所	検(健)診センター	社会福祉施設	助産所	その他	無回答不明	合計
71 (54.2)	3 (42.9)	10 (38.5)	4 (25.0)	13 (52.0)	2 (50.0)	12 (46.2)	— (—)	1,757 (33.1)
60 (45.8)	4 (57.1)	16 (61.5)	12 (75.0)	12 (48.0)	2 (50.0)	14 (53.8)	3 (100.0)	3,545 (66.9)
131 (100.0)	7 (100.0)	26 (100.0)	16 (100.0)	25 (100.0)	4 (100.0)	26 (100.0)	3 (100.0)	5,302 (100.0)

④ 現在の職場の勤続年数

表12は、現在の職場での勤続年数別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合が高いのは、勤続「1年未満」(46.4%)、勤続「15年以上20年未満」(34.4%)、勤続「1年以上4年未満」(34.2%)などの順である。

「進学を考えていない」者の割合が高いのは、勤続「25年以上」(78.2%)、勤続「20年以上25年未満」(70.9%)、勤続「7年以上10年未満」(69.2%)などの順である。

表12 現在の勤務場所での勤続年数別看護系以外の4年制大学への進学希望

	1年未満	1年以上 4年未満	4年以上 7年未満	7年以上 10年未満
進学したい	13 (46.4)	414 (34.2)	381 (35.9)	214 (30.8)
進学を考えていない	15 (53.6)	796 (65.8)	680 (64.1)	481 (69.2)
合計	28 (100.0)	1,210 (100.0)	1,061 (100.0)	695 (100.0)

表12つづき

10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上	無回答・不明	合計	平均年数
311 (34.1)	226 (34.4)	117 (29.1)	60 (21.8)	21 (33.3)	1,757 (33.1)	9.4
600 (65.9)	431 (65.6)	285 (70.9)	215 (78.2)	42 (66.7)	3,545 (66.9)	10.2
911 (100.0)	657 (100.0)	402 (100.0)	275 (100.0)	63 (100.0)	5,302 (100.0)	10.0

⑤ 現在働いている領域

表13は、現在働いている領域別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合が高い領域としては、「教育・研究」(52.1%)、「管理」(38.0%)などの順である。

表13 現在働いている領域別看護系以外の4年制大学への進学希望(複数回答)

	臨床 (急性期)	臨床 (慢性期)	地域	管理	教育 ・研究	その他 領域	無回答 ・不明	合計
進学したい	834 (33.2)	660 (29.0)	190 (35.6)	452 (38.0)	85 (52.1)	104 (36.7)	12 (22.2)	1,757 (33.1)
進学を考えていない	1,678 (66.8)	1,619 (71.0)	343 (64.4)	737 (62.0)	78 (47.9)	179 (63.3)	42 (77.8)	3,545 (66.9)
合計	2,512 (100.0)	2,279 (100.0)	533 (100.0)	1,189 (100.0)	163 (100.0)	283 (100.0)	54 (100.0)	5,302 (100.0)

以上から、職場の状況で進学を希望している者の人数が最も多いのは、看護婦(士) (1,273名)で、非管理職 (1,304名)、病院勤務 (1,476名)、急性期の臨床で働いている者 (834名)で、現在の勤務場所での勤務年数は1年以上4年未満 (414名)である。

3. 職業意識

① 職業継続意識

表14は、職業継続意識別にみた進学希望の割合である。なお、職業継続の意識については、①結婚や出産の関係、②職場移動との関係、③看護職としての職業継続という3点について尋ねた。

「進学をしたい」者の割合が最も高い職業継続意識は、結婚や出産の関係では「結婚・出産にかかわらず働き続ける」(34.5%)、職場移動との関係では「自分にあった職場を探し求めて勤め先を変える」(41.8%)、看護職としての職業継続では「看護の経験が生かせる仕事なら職種をこだわらない」(43.9%)である。

「進学を考えていない」者の割合が最も高い職業継続意識は、結婚や出産の関係では「結婚・出産まで働き続ける」(68.6%)で、職場移動との関係では「同じ勤め先で仕事を続けたい」(70.5%)、看護職としての職業継続では「看護職として仕事を続けたい」(75.7%)である。

表14 職業継続意識別看護系以外の4年制大学への進学希望

	職業継続と結婚・出産				職業継続 同じ勤め先で 仕事を続けたい
	結婚・出産にかかわらず働き続ける	結婚・出産を機に退職し、子供の手が離れたら再就職	結婚・出産まで働く	無回答・不明	
進学したい	1,059 (34.5)	476 (32.1)	138 (31.4)	84 (26.9)	1,052 (29.5)
進学を考えていない	2,007 (65.5)	1,008 (67.9)	302 (68.6)	228 (73.1)	2,515 (70.5)
合計	3,066 (100.0)	1,484 (100.0)	440 (100.0)	312 (100.0)	3,567 (100.0)

表14つづき

統と職場移動		看護職としての職業継続				合計
自分に合った職場を探し求めて勤め先を返る	無回答・不明	看護職として仕事を続けたい	看護の経験が生かせる仕事なら職種にこだわらない	看護職以外の仕事をしたい	無回答・不明	
646 (41.8)	59 (30.9)	644 (24.3)	953 (43.9)	120 (35.7)	40 (26.5)	1,757 (33.1)
898 (58.2)	132 (69.1)	2,001 (75.7)	1,217 (56.1)	216 (64.3)	111 (73.5)	3,545 (66.9)
1,544 (100.0)	191 (100.0)	2,645 (100.0)	2,170 (100.0)	336 (100.0)	151 (100.0)	5,302 (100.0)

② 現在の仕事に対する満足度

表15は、現在の仕事に対する満足度別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合が最も高い現在の仕事に対する満足度は、「非常に不満」で44.3%である。

「進学を考えていない」者の割合が最も高い現在の仕事に対する満足度は、「満足」で68.8%である。

表15 現在の仕事に対する満足度別看護系以外の4年制大学への進学希望

	非常に 不満	満 足	どちらで もない	不 満	非 常 に 満	無 回 答 不 明	合 計
進学したい	29 (34.1)	575 (31.2)	800 (33.7)	274 (33.6)	62 (44.3)	17 (35.4)	1,757 (33.1)
進学を考えていない	56 (65.9)	1,266 (68.8)	1,573 (66.3)	541 (66.4)	78 (55.7)	31 (64.6)	3,545 (66.9)
合 計	85 (100.0)	1,841 (100.0)	2,373 (100.0)	815 (100.0)	140 (100.0)	48 (100.0)	5,302 (100.0)

③ 将来働きたい領域

表16は、将来働きたい領域別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合が高い将来働きたい領域は、「教育・研究」(66.1%)、「管理」(43.9%)などの順である。

「進学を考えていない」者の割合が高い将来働きたい領域は、「臨床(慢性期)」(76.6%)、「臨床(急性期)」(71.1%)などの順である。

表16 将来働きたい領域別看護系以外の4年制大学への進学希望(複数回答)

	臨 床 (急性期)	臨 床 (慢性期)	地 域	管 理	教 育 ・ 研 究	そ の 他 の 領 域	無 回 答 不 明	合 計
進学したい	429 (28.9)	312 (23.4)	669 (38.3)	98 (43.9)	236 (66.1)	120 (33.7)	38 (18.6)	1,757 (33.1)
進学を考えていない	1,056 (71.1)	1,022 (76.6)	1,080 (61.7)	125 (56.1)	121 (33.9)	236 (66.3)	166 (81.4)	3,545 (66.9)
合 計	1,485 (100.0)	1,334 (100.0)	1,749 (100.0)	223 (100.0)	357 (100.0)	356 (100.0)	204 (100.0)	5,302 (100.0)

④ 働いてみたい分野

表17は、働いてみたい分野別にみた進学希望の割合である。なお、働いてみたい分野としては、「老人看護」「在宅ケア」「精神科看護」「福祉関係」の4分野について尋ねた。

「進学したい」者の割合は、「老人看護」の分野で働いてみたいと思う者では34.3%、「在宅ケア」の分野で働いてみたいと思う者では37.9%、「精神科看護」の分野で働いてみたいと思う者では47.7%、「福祉関係」の分野で働いてみたいと思う者では40.9%である。

表17 働いてみたい分野別看護系以外の4年制大学への進学希望

		思　　う	思わない	どちらとも いえない	就　業　中	無　回　答 ・　不　明	合　　計
老人看護	進学したい	531 (34.3)	352 (32.6)	608 (34.1)	183 (28.9)	83 (32.4)	1,757 (33.1)
	進学を考えていない	1,017 (65.7)	727 (67.4)	1,177 (65.9)	451 (71.1)	173 (67.6)	3,545 (66.9)
	合　　計	1,548 (100.0)	1,079 (100.0)	1,785 (100.0)	634 (100.0)	256 (100.0)	5,302 (100.0)
在宅ケア	進学したい	876 (37.9)	283 (25.4)	448 (31.2)	78 (39.4)	72 (30.0)	1,757 (33.1)
	進学を考えていない	1,435 (62.1)	833 (74.6)	989 (68.8)	120 (60.6)	168 (70.0)	3,545 (66.9)
	合　　計	2,311 (100.0)	1,116 (100.0)	1,437 (100.0)	198 (100.0)	240 (100.0)	5,302 (100.0)
精神科看護	進学したい	302 (47.4)	780 (27.9)	506 (38.0)	73 (33.0)	96 (30.0)	1,757 (33.1)
	進学を考えていない	335 (52.6)	2,011 (72.1)	827 (62.0)	148 (67.0)	224 (70.0)	3,545 (66.9)
	合　　計	637 (100.0)	2,791 (100.0)	1,333 (100.0)	221 (100.0)	320 (100.0)	5,302 (100.0)
福祉関係	進学したい	873 (40.9)	241 (24.0)	527 (29.6)	48 (39.0)	68 (25.9)	1,757 (33.1)
	進学を考えていない	1,261 (59.1)	763 (76.0)	1,251 (70.4)	75 (61.0)	195 (74.1)	3,545 (66.9)
	合　　計	2,134 (100.0)	1,004 (100.0)	1,778 (100.0)	123 (100.0)	263 (100.0)	5,302 (100.0)

⑤ 自分に向いているのは

表18は、自分に向いているのは別にみた進学希望の割合である。なお、自分に向いているのは、「一刻をあらそう場合に適切な判断処置をする」こと(これ以降は「緊急時の適切な判断処置」と、「患者が自分の健康問題に立ち向かえるようにじっくり援助する」こと(これ以降は「じっくりとした援助」)のどちらかとした。

「進学したい」者の割合は、自分に向いているのが「緊急時の適切な判断処置」であるとしている者が37.4%、「じっくりとした援助」であるとしている者では34.1%である。

表18 自分に向いているのは別看護系以外の4年制大学への進学希望

	緊急時の適切 な判断処置	じっくりとし た援助	どちらとも いえない	無回答・不明	合　　計
進学したい	378 (37.4)	1,038 (34.1)	336 (27.5)	5 (20.8)	1,757 (33.1)
進学を考えていない	633 (62.6)	2,006 (65.9)	887 (72.5)	19 (79.2)	3,545 (66.9)
合　　計	1,011 (100.0)	3,044 (100.0)	1,223 (100.0)	24 (100.0)	5,302 (100.0)

⑥ スペシャリスト志向か・ジェネラリスト志向か

表19は、スペシャリスト志向か・ジェネラリスト志向か別にみた進学希望の割合である。

「進学したい」者の割合は、「スペシャリスト志向」で39.9%、「ジェネラリスト志向」で30.1%の割合である。

表19 スペシャリスト志向か・ジェネラリスト志向か別看護系以外の4年制大学への進学希望

	スペシャリス ト志向	ジェネラリス ト志向	どちらともい えない	無回答・不明	合 計
進学したい	633 (39.9)	945 (30.1)	172 (31.2)	7 (22.6)	1,757 (33.1)
進学を考えていない	952 (60.1)	2,190 (69.9)	379 (68.8)	24 (77.4)	3,545 (66.9)
合 計	1,585 (100.0)	3,135 (100.0)	551 (100.0)	31 (100.0)	5,302 (100.0)

以上から、職業意識で進学を希望している者の人数が最も多いのは、職業継続意識においては、結婚・出産にかかわらず働き続ける（1,059名）、同じ勤め先で仕事を続けたい（1,052名）、看護の経験が生かせる仕事なら職種にこだわらない（953名）である。また、将来働きたい領域は地域（669名）で、将来働いてみたい分野は「在宅ケア」（876名）と「福祉関係」（873名）で、自分に向いているのはじっくりした援助（1,038名）で、ジェネラリスト志向（945名）である。

4. まとめ

看護系以外の4年制大学を希望している看護職の特徴をまとめてみると、20～30代が中心で、女性よりも男性の方が進学希望の割合が高く、看護職としての経験年数が10～19年が中心である。また、未婚の方が既婚・離死別よりも進学希望の割合が高い。

職種としては、看護教員や助産婦が進学希望の割合が高い。さらに、「教育・研究」や「管理」の領域で将来働きたいと思っている看護職や、「精神科看護」や「福祉関係」の分野で働いてみたいと思っている看護職、スペシャリスト志向の看護職に進学希望の割合が高い。

これらのことから、看護系以外の4年制大学を希望している看護職は、長く看護職の経験を生かして働きたいが、移動を好むタイプといえよう。また、現在の仕事に不満を持ち、他の分野への関心も高いタイプといえる。